

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	地域福祉と包括的支援体制		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年 水曜4限	教室名	5校舎7階
担 当 教 員	吉川 恭子	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<small>①地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 ②地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 ③地域福祉を推進するための、福祉行政の実施体系と果たす役割について理解する。 ④地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的及び展開を理解する。 ⑤包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。 ⑥地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。</small>						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10% ＊授業内でミニレポートも実施する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
レジメ配布 参考図書:地域福祉と包括的支援体制(中央法規出版)						
《授業外における学習方法》						
1. あなたの地域にある社会福祉システムを調べてみる 2. 地域の役割はなにかをあなた自身が生活していく上で考えてみる						
《履修に当たっての留意点》						
本科目は、精神保健福祉士受験資格取得の指定科目である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉の概念と理論について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインター ネットなどで調べる	
		各コマに おける 授業予定	地域福祉の概念、構造と機能、福祉コミュニティ論、在宅福祉 サービス論、ボランティア・市民活動論、共生社会			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉の歴史について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインター ネットなどで調べる	
		各コマに おける 授業予定	セトルメント、COS、社会事業、社会福祉協議会、民生委員、児童委員、 共同募金、在宅福祉、施設の社会化、地方分権、社会福祉基礎 構造改革、地域自立生活、地域包括ケア、地域共生社会			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉の動向について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインター ネットなどで調べる	
		各コマに おける 授業予定	コミュニティソーシャルワーク、コミュニティサービス、地域再生、 ケアリングコミュニティ			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉の推進主体について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインター ネットなどで調べる	
		各コマに おける 授業予定	地方自治体、NPO、市民活動組織、中間支援組織、町内会、自治会等、 民生委員、児童委員、主任児童委員、保護司、当事者 団体、社会福祉協議会、共同募金、企業			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉の主体と形成について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインター ネットなどで調べる	
		各コマに おける 授業予定	当事者、代弁者、ボランティア、市民活動、住民自治、住民主体、 参加と協働、エンパワメント、アドボカシー、福祉教育			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	国の役割について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	法定受託事務と自治事務		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	都道府県の役割について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	福祉行政の広域的調整、事業者の指導監督		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	市町村の役割について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	サービスの運営主体、条例、社会福祉審議会		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	国と地方の関係について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	地方分権、地方自治、地域主権、地方創生		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉行政の組織及び専門職の役割について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	福祉事務所、児童相談所、身体障害者厚生相談所、知的障害者厚生相談所、精神保健福祉センター、婦人相談所、地域包括支援センター、福祉事務所の現業員・査察指導員、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司、精神保健福祉相談員		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉における財源について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	国の財源、地方の財源、保険料財源、民間の財源		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の意義、目的と展開について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	福祉行政と福祉計画の関係、福祉計画の歴史、福祉計画の種類		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	市町村地域福祉計画・都道府県地域支援計画の内容について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
		各コマにおける授業予定	地域福祉と計画行政の関係、市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画の定義・機能、地域福祉活動計画との関係		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の策定過程と方法について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	課題把握と分析、協議と合意形成		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉計画の実施と評価について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	インターネットで関連記事を1つみつけておく
		各コマにおける授業予定	モニタリング、サービス評価、プログラム評価		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	地域福祉と包括的支援体制		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60	(4) 時間(単位)	
対 象 学 年	2年		学期及び曜時間	通年 水曜2限	教室名			
担 当 教 員	吉川 恭子	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
<small>①地域福祉の基本的な考え方、展開、動向について理解する。 ②地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解する。 ③地域福祉を推進するための、福祉行政の実施体系と果たす役割について理解する。 ④地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義、目的及び展開を理解する。 ⑤包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解する。 ⑥地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解する。</small>								
《成績評価の方法と基準》								
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10% ＊授業内でミニレポートも実施する。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
レジメ配布 参考図書: 地域福祉と包括的支援体制(中央法規出版)								
《授業外における学習方法》								
1. あなたの地域にある社会福祉システムを調べてみる 2. 地域の役割はなにかをあなた自身が生活していく上で考えてみる								
《履修に当たっての留意点》								
本科目は、精神保健福祉士受験資格取得の指定科目である。								
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第16回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域社会の概念と理論について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使 用		キーワードをインター ネットなどで調べる		
		各コマに おける 授業予定	地域社会の概念、地域社会の理論					
第17回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域社会の変化について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使 用		キーワードをインター ネットなどで調べる		
		各コマに おける 授業予定	世帯数・世帯構成、過疎化・都市化・地域間格差、外国人住民 の増加					
第18回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	多様化、複雑化した地域生活課題の現状とニーズについて説明 できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使 用		キーワードをインター ネットなどで調べる		
		各コマに おける 授業予定	ひきこもり、ニート、8050問題、ダブルケア、依存症、多文化共 生、自殺、災害 等					
第19回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	地域福祉と社会的孤立について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使 用		キーワードをインター ネットなどで調べる		
		各コマに おける 授業予定	社会的孤立、社会的排除、セルフネグレクト					
第20回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	包括的支援体制について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使 用		キーワードをインター ネットなどで調べる		
		各コマに おける 授業予定	包括的支援体制の考え方、包括的支援体制の展開					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域包括ケアシステムについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	地域包括ケアシステムの考え方、展開、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの展開、子育て世代包括支援センター			
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活困窮者自立支援の考え方について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	生活困窮者自立支援制度と理念、自立相談支援機関による支援過程と方法と実際、伴走型の支援と対象者横断的な包括相談支援、個人および世帯の支援、居住支援、就労支援、家計支援、子供の学習・生活支援			
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域共生社会の実現に向けた各種施策について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	多機関協働による包括的支援体制、住民に身近な圏域における相談支援体制			
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	多機関協働を促進する仕組みについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	総合相談、各種相談機関の連携、協議体、地域ケア会議、地域包括支援センター運営協議会、要保護児童対策地域協議会、障害者自立支援協議会			
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	多職種連携について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	保健・医療・福祉に関わる多職種連携、生活支援全般に関わるネットワーク、多職種連携等における個人情報保護			
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	福祉以外の分野との機関協働の実際について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	社会的企業、農福連携、観光・商工労働等との連携、地方創生			
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	非常時や災害時における法制度について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	災害対策基本法、災害救助法、各自治体の避難計画			
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	災害時要援護者支援、BCP、福祉避難所運営、災害ボランティア			
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域福祉ガバナンスについて説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	ガバナンスの考え方、多様化・複雑化した課題と多機能協働の必要性、社会福祉法における包括的な支援体制づくり、住民の参加と協働、住民自治、プラットフォームの形成と運営			
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域共生社会の構築について説明できるようになる。	レジメ配布 パワーポイント使用	キーワードをインターネットなどで調べる
	各コマにおける授業予定	地域共生社会、地域力の強化・包括的支援体制 ここまでの総まとめと振り返り。			